



大分市立  
鴛野小学校  
学校だより

# 鴛野小通信

令和3年  
3月18日(木)  
NO. 42  
発行者：板井勝博



## 子どもたちの大発見

一か月ほど前から休み時間にはできるだけ運動場に出るようにしています。ブラブラ歩いていると子どもたちから声をかけられます。

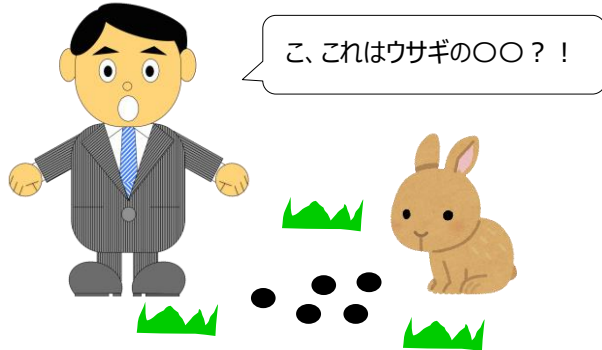
「二重とびができるようになったよ、見て、校長先生」「校長先生、サイドクロス、何回できるか数えて。」

子どもたちから声をかけられるたびに、「へえ、すごいなあ。見せて！」

「数えてあげるから跳んでごらん。」

などと大いに驚いてあげるようにしています。

今日は、そんな休み時間の出来事から子どもたちの発見をいくつか紹介します。



◇ある日、運動場に出てみるとラグビーボールのような形をした黒い小さな物体が点々と落ちていました。見た瞬間ピンときました。これはウサギの〇〇ではないか！あとで片付けなきゃと思っていたら、気が付いた先生が全部チリチリで取って花壇に撒いてくれていました。花壇の花も大きく育つことでしょう。夜になると近くの山からウサギがやってきて運動場を散歩しているのかもしれない。

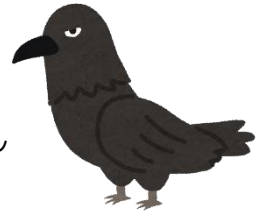
◇少し前のことになりましたが運動場の南側に謎の穴があるというので見に行ってみました。確かに直径5センチくらいの丸い穴がありました。いっしょに見ていた子どもが木の棒を突っ込んでみると20センチくらいの深さです。他にもあるというのでまわりを見てみるといくつか同じような穴がありました。育成クラブの工事関係の穴だと思のですが子どもたちは「謎の穴発見！」と、うれしそうでした。

\*「謎の穴」はアリの巣じゃありませんでした。→



## ～ 鴛野小学校運動場のミステリー ～

◇子どもたちの昇降口の前に小さな木があります。この木には小さな鳥の巣があります。一ヶ月くらい前に1年生が見つめました。先日の休み時間、その巣を子どもたちと見上げていたところ、ある子が山の方を見ながら「あつ、あそこにも鳥の巣！」とつぶやきました。その子の視線を追っていくと山の



中の一の本の木に確かに鳥の巣らしきものがありました。そして、その巣の上にカラスが一羽とまっています。童謡「七つの子」を思い出しました。

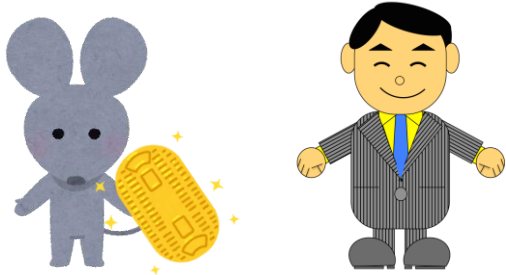
◇職員室南の運動場側にメダカの池があります。砂利が敷き詰められた縦横1メートル、深さ50センチほどの池の水草の間をメダカたちがスイスイと泳いでいます。先日ある男の子が「校長先生、メダカの水槽にすごいものがあつたよ。来て来て。」と僕の手をつかんで走ってきます。ついて行くと池の中にエビの抜け殻がある、と教えてくれました。確かに池の底の砂利の上にエビの透明な抜け殻がありました。メダカを入れたときに小エビも入れたのでしょうか。それとも水草について水槽の中に入ったのでしょうか。水槽の中はメダカだけでなくいろいろな生き物の楽園になっているようです。



◇子どもたちが「この花の蜜、甘いんだよ。」と小さな赤い花を教えてくださいました。見た瞬間に（自分も小さい頃、吸ってたなあ、この花の蜜！）と子どもの頃の記憶がよみがえりました。調べてみるとホトケノザという花でした。くわえて蜜を吸ってみると確かに甘いような気がします。ただし、花の中には有毒なものもありますから気をつけられないといけませんね。ホトケノザとそっくりのムラサキケマンという植物には毒があるそうですから要注意です。



◇ある日、1年生が小さな実を持ってきてくれました。色は黄土色で丸い形をしています。手の平に乗せて見ていると近くにいた子が「それはネズミの小判だよ」と教えてくれました。調べてみるとハゼノキの実のことでした。形は丸いものの色はまさしく小判のようで「ネズミの小判」というネーミングに納得しました。



◇昨日の中休み、子どもたちと運動場脇の側溝の上を歩いていました。幅50センチ、深さ30センチくらいの側溝にはアルミのフェンスが被せられていて深さ5センチくらいの水が溜まっています。メダカやカエルが泳いでいてもおかしくない雰囲気です。「何かいるかも知れないよ」と子どもたちと側溝の中をのぞいていたら何人かの子が「ヘビ、ヘビがいた！」とさわぎました。ちょうどそのとき、チャイムが鳴りました。

あとは私が確かめることになりました。かぶせてあったアルミフェンスを取り外すと子どもたちがヘビと間違えたあるものがプブカと浮かんでいました。子どもたちに見せようとバケツの中に入れたところを写真に撮りましたのでごらんください。一見カエルの卵のようなのですが中に入っている赤ちゃんはオタマジャクシよりも細長いのです。

卵を1年生に見せたと、興味津々の様子。「カエルの卵だよ、きっと。ぼく見たことあるもん。」  
「メダカの卵じゃないの？だってメダカみたいに細長いよ。」  
僕がふざけて「ネコの卵じゃないの？」と言うと  
「ネコはお母さんネコから赤ちゃんで生まれるんだよ。ネコじゃないよ。」  
と、「何言ってるの校長先生」といった感じで返答が返ってきました。1年生との会話は面白くてたまりません。

自分で調べてみてね、と子どもたちには言っていますのでお家の人も子どもたちと話してみてください。



## 感謝！地域の皆様から好意の品が続々と

☆6年生の卒業に際して鴛野校区青少年健全育成連絡協議会様からお祝いの品をいただきました。ありがとうございました。青少協様には登下校や夜間のパトロールなど学校としても大変お世話になっております。おかげで6年生も無事に卒業することができます。



☆鴛野校区老人クラブ連合会女性部様から「交通安全事故帽子」をいただきました。写真の様にきれいな紐を編んで帽子を作ってくれています。来年度の新入生にということです。子どもたちが喜ぶ姿が目に見えます。ありがとうございました。

